

子どものスポーツと学校週五日制

江刺正吾 4

表現力の追究

表現力を高める指導

濱田東起夫 (6)

ことばによる声の音楽表現

後藤充郎 (12)

『表現力』を培う算数学習

一年「駐車場の秘密」たし算・ひき算の学習を通して

蜂須賀 渉 (18)

子ども記 ○○博士誕生

日和佐 尚 (24)

実践

ジャガイモの科学

一六学年・理科学習指導の展開(一・二期)

中谷内 政之 (26)

「奈良公園の鹿」大研究

一二年生「しごと」学習より

廣岡 正昭 (32)

「力太郎」(二年)を読む

一自らを表現する喜びを

梶田 萬理子 (38)

子どもが作る運動会団体演技

一僕たちの惑星移民計画

阪本 一英 (44)

学習法 QあんどA

子ども一人ひとりにめあてを持たせる方法のあり方 岩井邦夫 (50)

4年月組「秋の博物館」開催 谷岡義高 (52)

授業づくりのポイント

子どもの司会によって一子どもの声を聞く 大津昌昭 (54)

〈実践寄稿〉

論説文教材における学習内容の検討

一六年「人類よ、宇宙人になれ」(花隆の場合)

吉川 芳則 (56)

自ら考え、意欲的に活動する児童の育成

一地域の素材を教材化した生活科学習を通して

田中 美穂 (60)

■教師の日記 大学入試センター試験

都留 進 (64)

〈特別寄稿〉

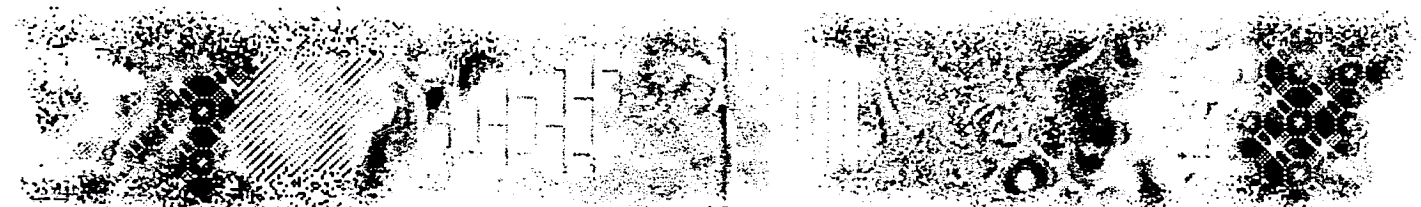
児童の知識の変容とメタ認知

一教師のメタ認知的言語行動とよい指導法

重松 敬一 (66)

通信 (70) あとがき (72)

口絵写真：蜂須賀 渉 序詩：稲垣 和秋 表紙・カット：嶋守 哲夫



子どものスポーツ活動の自己評価 江刺正吾 (4)

主題

個性と表現

子どもの個性的な造形表現をひき出す原点都留 進 (6)

個性的な自己表現力を育てる 岩井邦夫 (12)

自己実現の力を育てる家庭科学習 堀本三和子 (18)

——子どもの個性が生きるとき——

■子ども記 六年生・秋の遠足 中谷内政之 (24)

実践

詩「われは草なり」を読む 大津昌昭 (26)

新美南吉を尋ねて 稲垣和秋 (32)

——「こんぎつね」を読む——

『街角の算数』を楽しむ学習 日和佐 尚 (38)

——8という数のふしぎ(三年統計学習)——

混沌から構造化へ 谷岡義高 (44)

学習法 OあんどA

「ひとり読み」ができる子に 梶田 萬理子 (50)

発表を中心とした一年生の授業 小幡 肇 (52)

授業づくりのポイント

手軽につくる「立体変わり絵」 嶋守 哲夫 (54)

〈実践寄稿〉

生活の中から生まれた子どもの思いを 古賀 弘子 (56)

造形表現の喜びにまで高める指導の工夫

——二年単元「三の一・虫・ムシ・ランド」の実践を通して

授業の改善

——子どもを視点として——

■教師の日記 教育実践の近景・遠望 渋谷 晋 (60)

〈特別寄稿〉

ゴッホは何故絵を書き始めたか? 佐藤 完児郎 (66)

追悼・(元)重松鷹泰主事 (70)

あとがき (80)

口絵写真: 蜂須賀 渉

序詩: 阪本 一英

表紙・カット: 嶋守 哲夫



子どものスポーツ集団の現代的課題 江刺正吾 (4)

三語 表現の魅力と可能性

自己表現力の基盤 濱田東起夫 (6)

「表現」と理科学習の発展 中谷内政之 (12)

自らを表現できる環境 梶田萬理子 (18)

■子ども記 「この子」の輝きのために 蜂須賀 渉 (24)



サウンドグループの一年間 後藤充郎 (26)

自然や社会に目を開く 廣岡正昭 (32)

子どもたちの「町たんけん」 嶋守哲夫 (38)

コンピュータグラフィックスによる表現活動 小幡 肇 (44)

Adobe Photoshop を使った造形学習(6年)

六年月組最後の『じごと』学習の記録 小幡 肇 (44)

— 関西大震災とボランティア活動 —

学習法 QあんどA

女子の体の発育と学級での配慮 矢田 留美子 (50)

教材開発の仕方 日和佐 尚 (52)

授業づくりのポイント

耳をすませば — 感性を育てる — 稲垣和秋 (54)

〈実践寄稿〉

子どもが創る算数学習 和田秀夫 (56)

— 3年「分数」の実践 —

「子ども達の生活に密着した体育科学習」 上 島 憲 一 (60)

3on3バスケットボール大会 in 青山 (バスケットボール)

■教師の日記 人間の赤ちゃんはどうして 岩井邦夫 (64)

すぐ立って歩くことができないの

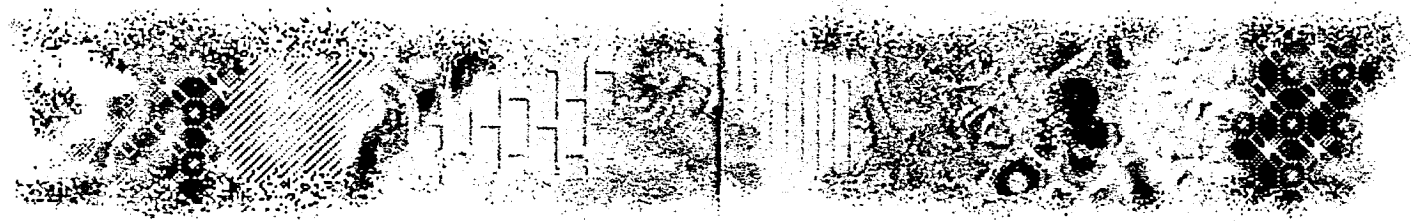
〈特別寄稿〉

文章表現における男女差 母利司朗 (66)

— 明治初期の書簡文をめぐって —

通信 (70) あとがき (72)

口絵写真：蜂須賀 渉 序詞：郁留 進 表紙・カット：嶋守 哲夫



子どものスポーツ活動にみられる性差 江刺正吾 (4)

三題 奈良の学習法と表現

表現への方法 大津昌昭 (6)

学習即表現・表現即学習 廣岡正昭 (12)

「複々線型の授業」における表現力の育成 日和佐尚 (18)

—認識を高めるための表現力育成に関する一考察—

子ども記 ビジのメイさんは誰が助けるの? 小幡肇 (24)



情報化の未来像 稲垣和秋 (26)

「山下清に挑戦してみよう」 都留進 (32)

—四年鑑賞活動からの発展—

「忍者の遊びをつくらう」の学習 岩井邦夫 (38)

—一年「基本の運動」—

生活に根ざした家庭科学習 堀本三和子 (44)

—六年「おやつバイキング」の実践より—

学習法 QあんどA

閉脚跳びの指導はどうすればよいか 濱田東起夫 (50)

サウンドグループの取り組みについて 後藤充郎 (52)

授業づくりのポイント

川の学習で「立体積層地図」を作ってみよう 谷岡義高 (54)

〈実践寄稿〉

いろいろな声で 石上則子 (56)

—春を表す言葉でボイスコンポジションをつくらう—

自分らしく生きる力を育てる 小野間正巳 (60)

評価と支援のあり方

—一年「統合」単元「春を感じながら遊ぼう」—

■教師の日記 7時30分の恐怖 矢田留美子 (64)

〈特別寄稿〉

教師の表現 伊藤一也 (66)

通信 (70) あとがき (72)

口絵写真:「春の運動会」詩集:「春の運動会」詩集:「春の運動会」詩集:「春の運動会」詩集



低・中学年児童の運動能力

江刺正吾 (4)

主題

学習法における評価観

「学習法」における評価観

相部芳徳 (6)

造形活動を通して自立・誘う評価の二考察

都留進 (12)

子どもを伸ばす評価

鈴木清次 (18)

子どもも記 パソコングループ

嶋守哲夫 (24)



向上心をゆさぶる導入

—六年 転回運動—

濱田東起夫 (26)

日本伝統楽器による音楽学習(六年)

後藤充郎 (30)

生命を支える物質の循環を追究する

—第一学年 けいこ理科環境のつながりの学習課程—

谷岡義高 (38)

もどつてきた羊さん

堀本三和子 (44)

学習法 OあんどA

文章表現の工夫

梶田萬理子 (50)

筆算をどこまで指導すればよいか

日和佐尚 (52)

授業づくりのポイント

作文指導のあり方

稲垣和秋 (54)

〈実践寄稿〉

文学読書単元の構想

『新美南吉の作品世界』

二瓶弘行 (56)

二人ひとりの見方、考え方が生きる

社会科学学習をめざして

上田啓二 (60)

古くからつづく手づくり工業—奈良の筆づくり—

■教師の日記

六年月組13名の
ボランテニア記

小幡肇 (64)

〈特別寄稿〉

木下竹次先生の真価

重松鷹泰 (66)

通信 (70)

あとがき (72)

口絵写真…矢田留美子

序詞…岩井邦夫

表紙・カット…嶋守哲夫



子どもの運動能力にみられる低下傾向 江刺正吾 (4)

生誕 「学習法における教師観」

教師という環境 大津昌昭 (6)
 教師としての成長 梶田萬理子 (12)
 「女房役」になりきる教師 日和佐尚 (18)

■子ども記 六年生の役員決め 堀本三和子 (24)

美談

理科にみる子どももの学び 中谷内政之 (26)
 —五年「理科学習の記録」より—
 四季の色見つけ・音しらべ 廣岡正昭 (32)
 —五感でとらえる「しごと学習」—
 コンピュータで絵本をつくろう 嶋守哲夫 (38)
 —スライドショーを使った造形活動(三年)—
 肥満児童への保健指導 矢田留美子 (44)

学習法 OあんどA

作文の組み立てがうまくいかないのですが 稲垣和秋 (50)
 かけ算の手工品 鈴木清次 (52)

授業づくりのポイント

入門期の書写指導 濱田東起夫 (54)

〈実践寄稿〉

自らの願いをもとに、 皆尺寺敏紀 (56)
 生活を豊かに創りだす生活科学学習
 —二年単元「わたしの心を伝えよう」の実践を通して—

教科理科を通しての環境教育 中村喜久夫 (60)

—六年「ヒトと環境」の実践から—
 ■教師の日記 子どもが立ち寄る理科室 谷岡義高 (64)

〈特別寄稿〉

学習技能を鍛える授業を 有田和正 (66)

通信 (70) あとがき (72)

口絵写真…小幡 隆 序詩…郁留 進 表紙・カット…嶋守 哲夫



学習研究 目次

第三五三号（一九九五・二）

子どもの体力は低下しているのか

江刺正吾 (4)

生観

学習法における指導観

子どもを導き、育てる指導観

濱田東起夫 (5)

音に気づく音楽学習

後藤充郎 (12)

理科学習における指導観

谷岡義高 (18)

子ども記 三年生の冬休み

鈴木清次 (24)

実践

生き物への親しみを深めていく学習

—しごと「生き物と友だち」の指導実践—

相部芳徳 (26)

国語教育小論

稲垣和秋 (32)

「教室を改造しよう」

—三年生活造形学習—

都留進 (38)

子どもが語ってつくる『歴史の授業』

—友のとらえやすキリしないことを聞き合う中で—

小幡肇 (44)

学習法 QあんどA

おしゃべり感覚の発言—そのためには

大津昌昭 (50)

被服製作の基礎的な技能を

楽しく身につけさせるには

堀本三和子 (52)

授業づくりのポイント

ラミネートマシーンを使った造形学習

嶋守哲夫 (54)

〈実践寄稿〉

語りもの音楽に親しもう

中山純子 (56)

子どもの「物の見方、考え方」

を育てる家庭科の指導

松井奈都子 (60)

■教師の日記 兵庫県南部地震

中谷内政之 (64)

〈特別寄稿〉

しん学力観のキーワード

志水廣 (66)

目

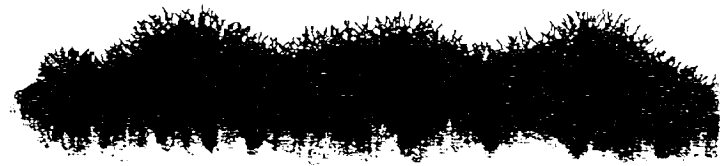
信 (70)

あとがき (72)

口絵写真：小幡肇

序詩：中谷内政之

表紙・カット：嶋守哲夫



子どもの体力とは何を意味しているのか 江刺正吾 (4)

主題

学習法における教材観

「しごと」における教材観	相部芳徳	(6)
マルチメディア時代の学習	嶋守哲夫	(12)
自らのくらしを高める家庭科の教材	堀本三和子	(18)
■子ども記 写生会	都留進	(24)

実践

ドミニカのおどり	大津昌昭	(26)
―詩のアンソロジー―		
いのち(星野富弘)の詩を読む	稲垣和秋	(32)
かげえでかたちをつくつてあそぼう	日和佐尚	(38)
―タンogramを使つての形づくり(二年)―		
子どもが語つてつくる『歴史の授業』	小幡肇	(44)
―友のどらえやスックリしないことを聞き合う中で―(その二)		

学習法 QあんどA

「書く」活動を取り入れた理科指導の改善	中谷内政之	(50)
準備や後片付けに時間がかかるのですが…	岩井邦夫	(52)

授業づくりのポイント

表現の楽しさを体験する学習	梶田萬理子	(54)
---------------	-------	------

〈実践寄稿〉

体育・スポーツの主体を育てる	徳永隆治	(56)
教材の検討		

―みんなで楽しむボールゲームのルールづくり―

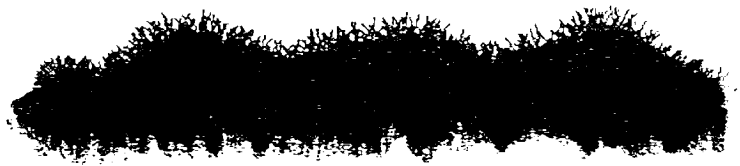
子どもの側から教材観を問う	大橋圭介	(60)
---------------	------	------

―第五学年紙工作「〇〇が通る橋」の実践を通して―

■教師の日記 恐ろしい被爆	濱田東起夫	(64)
---------------	-------	------

〈特別寄稿〉

学校教師の教え方	寺尾慎一	(66)
----------	------	------



子どもの体力は子ども自身のもの 江刺正吾 (4)

主題 学習法における学力観

学習する力を育てる 中谷内政之 (6)

体育で育てる「学力」を考える 岩井邦夫 (12)

「しごと学習」論 その(3) 廣岡正昭 (18)

— 問題解決力を育てる —

子ども記 トシくんがきたとき 大津昌昭 (24)

実践

書的精神の高揚 濱田東起夫 (26)

ポピュラー音楽に取り組もう(六年) 後藤充郎 (32)

だれにしようかな 鈴木清次 (38)

二年「あまりのあるわり算」を使って

「おむすびころりん」を読もう 梶田萬理子 (44)

学習法 QあんどA

子どもの思いが出る彩色をさせるために 都留進 (50)

楽しく取り組む季節新聞作りのポイント 谷岡義高 (54)

授業づくりのポイント

自分自身のとらえや思いが出せる 小幡肇 (54)

高学年社会科学学習の授業

実践寄稿

「できる」「わかる」は別 春名裕美子 (56)

— 比とその利用(六年) —

カウンセリング的手法を 若尾晴敏 (60)

生かしてほめる 日和佐尚 (64)

■教師の日記 魚釣り

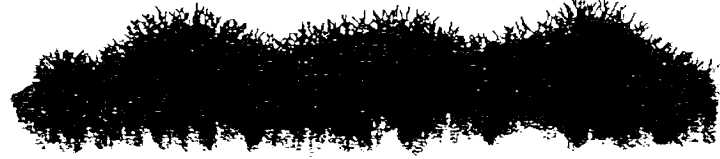
特別寄稿

学生とともに 馬居政幸 (66)

一衣帯水の隣国で学んだこと

通信 (70) あとがき (72)

口絵写真:鈴木 清次 序詩:稲垣 和秋 表紙・カット:嶋守 哲夫



子どもの体力は国家のものか 江刺正吾 (4)

生題 学習法における子ども観

子どももの実力 大津昌昭 (6)

新しい学力における子ども 稲垣和秋 (12)

子どもの育ちの姿から「子ども観」を見つめる 小幡肇 (18)

子ども記 子どもたちの「心の目」 廣岡正昭 (24)

実践

「水の不思議」に迫る子ども 中谷内政之 (26)

—四年・理科(水を探る)の実践から—

「ギターをつくろう」 都留進 (32)

—六年・手作り楽器への挑戦—

子どもに生きる「忍者の体育」(三年・その三) 岩井邦夫 (38)

—「ボールゲーム」の学習・その2—

自分流に追究する力を支える学習指導 日和佐尚 (44)

—くり上がりのあるたしざん(一年)—

学習法 Q&A

ポピュラー音楽の取り扱いについて 後藤充郎 (50)

子どもが楽しめる教材開発のポイント 嶋守哲夫 (52)

授業づくりのポイント

サツマイモの収穫を喜び合う学習 相部芳徳 (54)

実践寄稿

三年社会科「宇治茶」で私が学んだこと 赤野孝一 (56)

—「ここ」を通してゆり動かされる子ども達—

自分の考えを深め拡げる子ども 松井康治 (60)

■教師の日記 「マディソン郡の橋」 梶田萬理子 (64)

特別寄稿

音楽教育の新しい潮流にむけて 滝沢達子 (66)

—アジアに学ぶ文化を生かす音楽教育—

信 (70) あとがき (72)

